

**脳MRA画像**

**PET-CT**

**PET画像**

**治療の実際～当院のがん治療の紹介～**

**陽子線治療**

**ホウ素中性子捕獲療法 Boron Neutron Capture Therapy (BNCT)**

**ガンマナイフ 脳内病変治療装置 Gamma刀**

**温熱療法 高周波ハイパーサーマ Hyperthermia**

**強度変調放射線治療 IMRT**

**ダ・ヴィンチXi Da Vinci**

**人間ドックの検査内容 (オプション)**

医師の診察・問診	詳しく調べるための予備検査。
血圧測定	高血圧の改善は生活習慣の見直しから。
心血検査	血液は全身の健康状態を反映。
脂質の検査	中性脂肪とコレステロールに注意。
代謝系の検査	體重減少の予兆は食生活から。
肝臓検査	肝臓は太りの原因、いたわりを。
骨髄検査	骨髄の検査は骨髓癌が優位の場合も。
心電図	心臓の心電図の見本は心臓を調べる。
胸部レントゲン写真	主に肺の状態を調べる。
眼底検査	白内障や網膜の有無など。
胃部検査	食道～胃～十二指腸の異常の有無。
大腸検査	大腸疾患の早期発見を目指す。
脳ドック	脳腫瘍や動脈瘤の有無など。
P E T	全身を一度に観察、診断。

**総合南東北病院の特徴**

**診療科**

**まとめ**

**Take Home Message 1**

**Take Home Message 2**

2024-2025年度(第58年度) 国際ロータリー第2530地区 郡山西ロータリークラブ 2024年12月11日(水)

# Koriyama West Weekly Report

会長/鈴木 茂幹事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文  
会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理  
事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階 ☎024-923-0847  
例会日/水曜日12:30~13:30 例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

ロータリーのマジック **第21回例会 No.2794** Rotary

## 会員卓話「消化から体を考える」 柿沼 雄二 氏

ロータリーソング「我らの生業」齊唱  
四つのテスト唱和 鈴木 茂会長挨拶

皆さん今日は。本日もご参集頂き有難うございます。先週、大和田新様から大変貴重なお話を頂きました。私は個人的に自閉症協会の会員をしていて寄付や支援を行っていますので、実際の現場を見るため、「日本で一番大切にしたい会社」クラロン伺いたいと思いました。

先日、相続事業継承の事業所向けの勉強会に行ってきました。前回はホールディングス関連のお話が多く、大手銀行が主導した大失敗例や、サントリーホールディングスの成功例等、そういうものをご案内頂いて学んで参りました。相続事業継承は、税制上のメリットだけを考え、人の関係を全く無視した方策をとる事が、失敗する原因であると思います。

ロータリーの地区のイベントは前半が大変多かったのですが、後半はIMはありますが少し余裕が出てくると思いますので、私は会員増強に集中したいと思います。本日は体験入会オブザーバーとして、(有)桑原造園代表取締役桑原正浩氏をお招き致しました。是非ご入会お願いします。

佐藤克敏親睦副委員長

【結婚祝】 氏家勇一 H10.12.20  
今泉雄二 H28.12.8  
【誕生祝】 柳沼克彦 S31.12.12  
滝田吉宏 S44.1.31  
鈴木厚志 S56.12.1

米山記念奨学会表彰

石田 弘会員 米山功労者 5回  
地区大会表彰(2023~24)

感謝状

中央分区ガバナー補佐 高橋金一会員  
米山功労者

七海正克会員 メジャードナー(米山功労者13回)  
鈴木功一会員 新ポールハリスフェロー



新会員入会者数上位クラブ第4位 ロータリー賞 郡山西RC出席報告 今泉雄二出席小委員長

会員数 39名 出席者数 21名 欠席者数 18名 出席率 53.85% 前回出席率 66.67% オブザーバー 桑原正浩氏  
ニコニコBOX報告 阿部治江ニコニコBOX委員

滝田幹事 桑原さんようこそ。仲間になる事を楽しみにお待ちしています。伊東会員孫のお宮参りに行ってきました。大宮の氷川神社虔い人でした。乾会員・高橋(金)会員・満井会員・関根会員柿沼さんの卓話楽しみです。民報サロンでお世話になりました。鈴木茂会長 柿沼さん本日宜しくお願いします。阿部会員 石田会員 今泉(雄)会員 遠藤(雄)会員 柿沼会員 金田会員 佐藤会員 鳴原会員 鈴木(功)会員 七海会員 丹生会員 緑川会員 柳沼会員



今週のニコニコ大賞 柿沼雄二会員

会員卓話「消化から体を考える」

柿沼雄二 氏

本日は卓話の役割をどうもありがとうございます。本日は皆様へ改めて健康への興味・関心を感じて頂く機会にするため、消化管を導入としまして、科学と文化の両面から考察していきます。更に早期発見のためには健診・ドックが大事である事、今日からできる実践的・具体的な取り組みについて、日常的にできることから、医学的・科学的な視点を背景に、ご提案していきます。



人生100年時代、主として60歳以降、これから的人生を輝かせるための、心がけや取り組みについて、日常的にできることから、医学的・科学的な視点を背景に、ご提案していきます。

柿沼雄二

福島県立医科大学・旧第二外科学講座出身  
昭和38年1月1日生 祝・還暦!!

須賀川市生まれ。現在、郡山市内在住。  
はじめ、大学は文部へ。教員免許取得。  
医師になりたいと思い、文部卒業後に入院部へ。  
福島県立医科大学の外科に入院。外科専門医。医学博士。  
これまで、星稲田病院や国立郡山病院などに勤務。  
福島県大同窓会第一回奨励賞、医局年会最優秀個人賞。  
2022年4月、総合南東北病院に着任。  
父は、元・高校英語教諭。  
趣味は、読書や音楽、絵画鑑賞や、筆耕執筆や人応援。

治療医学 予防医学  
これまで、医師になってから出す「治療医学」が主であった。  
現在は、なるべく「予防医学」の重要性が増してきました。  
「予防医学」の理念と実践が大事

そのためにも、「健康診断・人間ドック」が大事

仕事が大事。それが、自分のことが優先順位の後回しになってしまひましたか。



